

## 「倉吉市交通バリアフリー基本構想」 「倉吉駅交通結節点改善事業計画」への意見募集！

倉吉市では、現在、倉吉駅周辺地区における「交通バリアフリー基本構想」と倉吉駅を橋上化し南北が自由通路によって結ばれる新しい倉吉駅についての「倉吉駅交通結節点改善事業計画」を策定中です。倉吉市では多くのの方々の意見を計画に反映させるため、計画について広く意見を募集しています。

### 倉吉市交通バリアフリー基本構想（案）

倉吉駅周辺の道路からバリアフリー化を図るべき特定経路を選定し、お年寄りや車椅子の方、目の不自由な方も安心して通行できる交通バリアフリー化を図ります。

基本方針：みんなで育てるいきいき交通バリアフリー

実施時期：早急に実施すべき事業は平成22年を完了の目標として、実現可能なものから順次取り組んでいきます。現段階において平成22年までに完了させるのが困難な事業についても可能な限り早期の完了を目指すこととします。

### 実施すべき主な交通バリアフリー事業

#### 公共交通特定事業

- a. JRおよび倉吉駅
  - ・案内板等の表示方法の検討
  - ・自由通路、エレベーター、および多機能トイレ等の整備
  - ・スロープ・階段手摺りの設置
  - ・ボタン式半自動ドア車輦への改造
  - ・駅員、乗務員のバリアフリー教育の充実
- b. 駅前広場及びバスターミナル
  - ・バスターミナルの改良
  - ・点字ブロックの設置
  - ・案内板等の表示方法の検討
  - ・身障者用駐車場の整備・改良
  - ・北口駅前広場の整備
  - ・通路シェルターの整備
  - ・身障者用駐車場の利用方法の啓発
- c. バス事業者
  - ・点字ブロックにあわせたバス

#### 倉吉駅交通結節点改善事業計画（案）

JRによって分断された倉吉駅の南北を結び、より便利な倉吉駅にするため駅の橋上化とともに自由通路を整備します。駅舎と自由通路にはエレベーターを整備するなどバリアフリー化を図ります。

そして、駅の北側にもタクシー乗降場、一般送迎用の駐車場、身障者用の駐車場、駐輪場を備えた駅前広場を整備します。また、現在の駅前広場および駅舎についてもバリアフリー化を図り、多くの人が便利に安心して利用できる倉吉駅への改善を図ります。

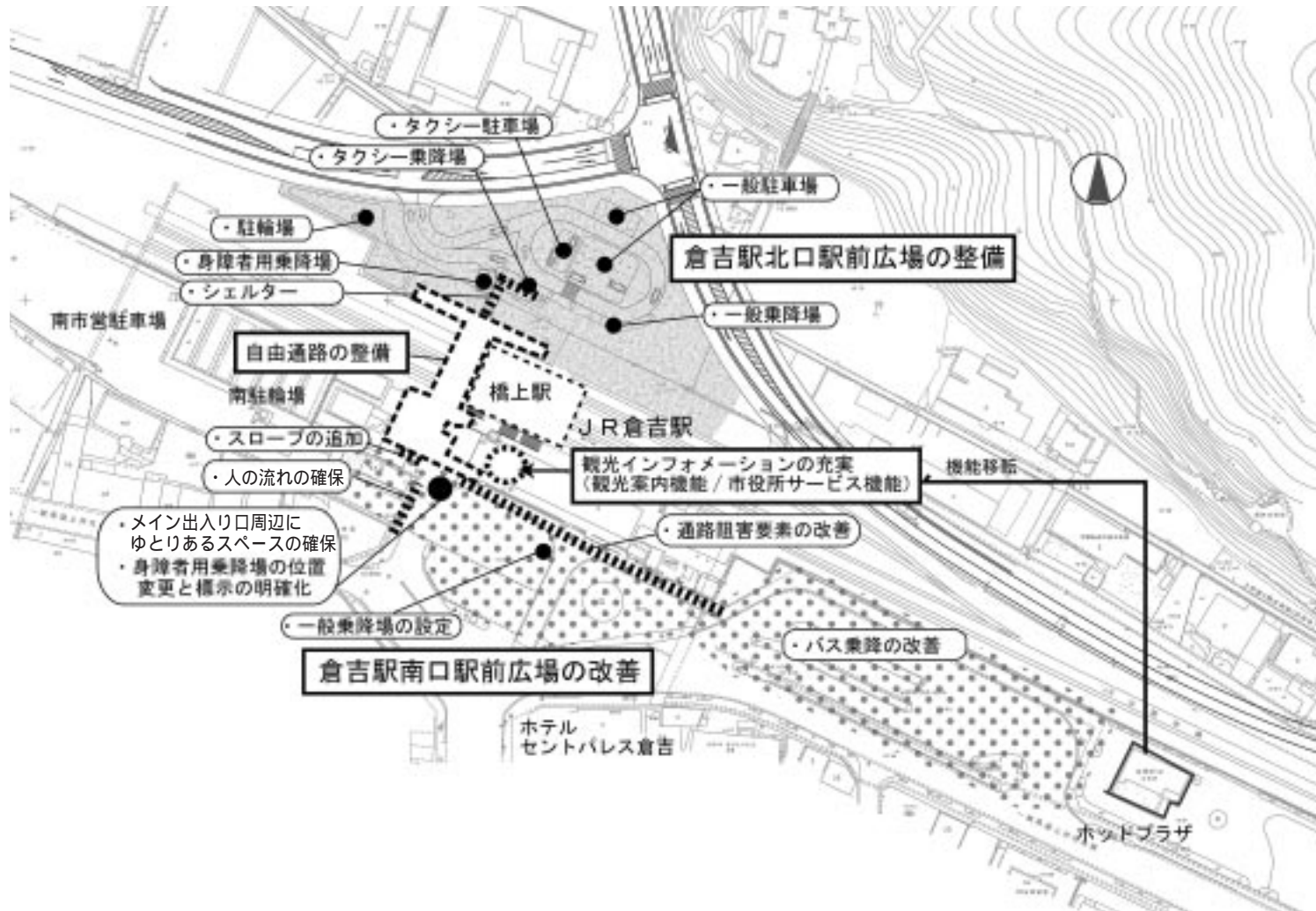
なお、検討中の内容は「交通バリアフリー基本構想（案）」「倉吉駅交通結節点改善事業計画（案）」としてホームページ（<http://www.city.kurayoshi.tottori.jp/p/gyousei/div/kensetsu/ekishuhen/>）へも掲載しています。両計画（案）についてみなさまの意見をお寄せください。

建設部倉吉駅周辺整備事務所 〒682-0021 倉吉市上井320-11 (☎0858-26-2823 / ㊟0858-26-2831)

E-メール ekishuhen@city.kurayoshi.tottori.jp



現在の駅北写真



**打吹公園のふれあい広場の名称、ふれあい動物の名前が決定しました**

打吹公園開園一周年記念事業として整備した「フレンドリー広場」で、活動するボランティアを募集しています。

動物とふれあうことに興味のある人はぜひ倉吉市建設部管理課公園管理係までご連絡ください。

対象  
動物とふれあうことに興味がある人（高校生以上）

活動場所  
打吹公園内「フレンドリー広場」

活動内容  
動物とのふれあいの際に、動物とのふれあい方について指導し、ふれあいの手助けをする。

問い合わせ先：管理課公園管理係  
☎228131 / ㊟228140  
Eメール  
toshikei@city.kurayoshi.tottori.jp





## グリーンスタジアム倉吉

### みんなで野球場整備！

安全で気持ちよく使っていただくため、倉吉市営野球場の内野グラウンドの補修工事を行いました。

3月21日（月・祝） 普段から野球場を使って練習や試合をしている小・中学生をはじめ関係者123人が集まり、整備に一役かおうとみんながトンボをもって、整備に汗を流しました。

また、作業終了後、トンボのかけ方などを学ぶ整備講習会を行い、参加者からは、「さっそく今日の練習からみんなに教えたい」と話していました。



整備に汗を流す参加者



©谷口ジロー『遙かな町へ』小学館

### はじめまして、 倉吉市長です

倉吉市長 長谷川稔

外は春にはまだ遠い感の日でしたが、「心とからだの湯治場の里誕生会」は体の芯から温もってくる人の温かさを感じた閉町イベントでした。積み上げた五十一周年の歴史をさらにステツブアップして新たな関金の魅力を高めようとする意欲が強く伝わってくるものでした。今回の合併により、こうした人、地域のエネルギーを引き出し、活躍できる仕組みが広がることを念じています。

同じ頃、旧牧田家建物保存対策調査

書が届きました。この中で、町並みの調査から重要伝統的建造物群保存地区として指定を受けるまでには二十年を要しましたが、時間の経過とともに保存地区以外の建物も注目されはじめ、倉吉の歴史的建造物や町並みも、近年になって面的な広がりをもち評価されてきていると記されています。要は先見性と根気良く取り組むことを教えてください。合併の効果は繋げる、リンクすることにより生まれるといいです。別々に見える資源を連携することで、発掘、育成、起業する役割を果たしていかねばなりません。

一方で、わが市意識の持てる地域づくりを進める必要があります。広報せきがねの最終号に「合併後、市報には出生、死亡に関する情報の掲載はなくなりそうです。」とありましたが、市役所が縁遠いものとなつてはならず、伝えることは聴くことを基本に職員一人ひとり皆さんに働きかけていきます。

## 人権尊重都市宣言のまち倉吉

部落解放  
シリーズ 624

### 「色覚検査」廃止から思うこと

「常識」は、時代によって変わっていきます。だからこそ、「なぜ」はいつの時代にも使える「本物」に迫る手法です。でも、それを日々の中で大切にすることは簡単ではありません。

「父さんは、何でそんなに寝る？」と小五の息子。「眠たいけどがな。」と私。「なんで？」。「なんでも！何でもええけ、寝かせてごせいや。あつち、いつて！」家でよく交わす会話パターンです。

教室では「自分の抱いた疑問にこだわられ！」と教える社会科教員の現実です。

父親の眠気の原因にこだわること、息子の人生の中でたいしたことではありません。ただ、こうした会話の繰り返しの中で「こだわることや「尋ねる」ことが自然に失われているのかもしれない。

「色覚異常」という言葉を聞くと「ドキッ。」としてきた一人です。それは、私自身が学校で受けた「色覚検査表」を読むことができず、その該当者だからです。一つ一つが丸い形をした色の集合体が古ぼけた本に描かれており、他の子はスラスラと数字を言って通過するのに自分には数字がよく見えず、見えた数字を言うと教師が「えっ！」と聞き返す。横を見ると「早くしてよ。」と言いたげな視線。そんな光景を今でも思い出すことがあります。生活に支障を感じることはなかったですが、進路

### 差別のない明るい社会へ

決定期には「色覚異常者」は理系には進めないと言われ、「疑問」のかけらも感じず文系の教員を目指しました。

二〇〇一年、労働安全衛生法が改正され、就職時の健康診断項目から「色覚検査」の義務づけが廃止されました。二〇〇三年には、学校保健法の改正が行われ、児童生徒の「色覚検査」の義務づけが廃止されました。

私が受けた検査表は、約九十年前に徴兵検査用に開発されたもので、現在ではその信憑性（しんぴょうせい）に疑問が指摘されています。文部科学省発行「色覚に関する指導の資料」には、「工学部や医学部には進めない」と思い込んでいる児童生徒もいます。これらはすべて誤解です。」と書かれています。

『異常』ということへの引け目と「なぜ」というこだわりのなさが自分の生き方を「狭く」してきた」と同和教育を通して気づき、自分自身を見直すことはできませんでした。『日々の生活に活かす』まではまだ大丈夫です。「ついつい」でごまかすことを戒め合わねばならないと反省する昨今です。

（部落解放・人権啓発資料作成委員会 吉岡）

